

■教育目的

医学における臨床検査の意義と臨床検査技師の使命および役割を理解し、加えて検体の採取法とその取り扱い方を習得するとともに、さらに患者の心理等についても理解を深めることを目的とする。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-② 4、YD-⑤】

■学習到達目標

1. 臨床検査技師としての倫理・規範的知識を理解する。
2. 臨床検査の一般的概念、医療上の重要性、臨床検査技師の役割などを理解する。
3. 臨床検査技師として業務を遂行する上で必要な医療体系と各種制度を理解する。
4. 臨床検査技師が担当する具体的な業務内容を理解する。

■準備学習（予習・復習）

予習：シラバスの授業内容に該当する教科書・参考書の記載に目を通しておく。

復習：授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分で調べてみる。

■授業内容

臨床検査の医療における重要性和臨床検査技師の果たす役割をとともに、臨床検査の主たる業務内容とその基礎について広い視野から学習する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	医療と臨床検査	臨床検査の発展、臨床検査の役割	A(2)-1
2	医療制度と臨床検査	医療体系、医療制度、病院検査業務	A(2)-2
3	疾患と臨床検査	診断、治療、予防と臨床検査	C2(3)
4	チーム医療	チーム医療と臨床検査技師	A(3)-4-2
5～6	臨床検査の基礎	・ 臨床検査の目的、臨床検査技師の使命と役割 ・ 検査業務の概要、臨床検査における心構えと一般的注意	A(2)-1
7	採血法	採血行為の範囲、採血の種類、採血に際しての注意事項 採血の部位と手段、乳幼児の採血	C2(3)
8～9	検体の取り扱い方	・ 尿、糞便、喀痰、咽頭粘液、胃液と十二指腸液 ・ 血液、髄液、膿と分泌液、その他	C2(3)
10	臨床検査の自動化	検査機器と検査の自動化	C2(3)
11	臨床心理学の基礎	臨床心理学とは	A(2)-2, A(3)-3
12～13	患者の心理	・ 一般患者、乳幼児、高齢者 ・ 終末医療における患者の心理、疾病の告知	A(3)-2
14	検査を受ける人の心理	臨床検査と患者の心理	A(3)-3
15	医学、臨床検査と薬学	臨床検査と薬学	C2(3)

■授業分担者

矢久保 修嗣、学外講師（No.1～4）、柿木 孝志（No.5～10・15）、村上 弘子（No.11～14）

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験の成績（90％）および授業への参加態度・課題レポートなど（10％）により、総合評価する。

■単位認定方法

上記の成績評価で基準点を超えた者に単位を認める。

■教科書

『臨床検査法提要 改訂第34版』 金井 正光 監 （金原出版）

必要に応じてプリントを配布

■参考書

『臨床検査医学総論（標準臨床検査学）』 矢富 裕（監修）（医学書院）

『改訂新版 臨床検査 基準値ノート』 河合 忠・庄司 優 編（薬事日報社）

